

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2019/9/1

No.658

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

天満別院崇敬寺院巡り 第2回 光明山 願得寺



蓮如上人銅像

光明山 願得寺 住職…清澤 悟
住所…大阪府門真市御堂町8番23号
沿革
光明山願得寺は永正5年（1508）蓮如上人の7男である蓮悟が加賀石川に清澤坊を創建したのが始まり。永正10年（1513）には「加州石川郡剣村清澤ノ坊ニ実悟住ス・・・実悟住持、清澤願得寺ト号ス」（剣村は現在の石川県白山市鶴来町）とあり、その頃までに本願寺第9世実如上人より願得寺の寺号を与えられていたと察せられます。その後、享禄の争乱（1531）等、北陸での宗派混乱で願得寺は消失し、時を経て永禄年間（1558）に実悟は本願寺第10世証如上人より、この地にあった古橋御坊※を譲られ願得寺の寺号を移し願得寺開基となりました。
※古橋御坊そのものは文明10年（1478）に蓮如上人によりこの地に真宗念仏布教の道場として建立されたもの。
天正4年（1576）正親町天皇の時には、勅許院家に列せられ一家衆として桃山、江戸期から明治初年までは中本山格、その後も五箇寺※として当地方における教団の中心的存在となってきました。寺格廃止等の変遷を経ながらも真宗教化流布に努め、現在に至っています。
※五箇寺とは真宗の正統を正しく伝授すべき家を定められた名目。
現在は、お寺の行事や、法話の会だけではなく、より親しみを持ってもらえるよう、年に4～5回の一般市民向け教養講座「御堂塾」や各種コンサート、認知症対策の癒しサロン等の場として、お寺の開放に取り組んでおられます。今、これからの課題は、先ずは次の世代へ繋ぐ仏法相続であると清澤御住職は語っておられました。

法要・行事予定

9月

8日・同朋の会（フィールドワーク）（午後2時）
稲垣洋信師（第7組 長教寺住職）
建部智宏師（ 〃 教應寺住職）
12日・闍如上人御逮夜・常永代経（午後2時）
13日・闍如上人御命日 兼日中（午前8時）
17日・報恩講習礼 寺族対象（午後5時）
21日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
24日・正信偈書写の会（午前10時）
・秋季彼岸会 並 総永代経法要 兼
墓地納骨（物故者）追弔法要（午後1時30分）
麻生英城師（第12組 唯稱寺住職）
「彼岸に憶う『良時吉日』に囚われて」
27日・宗祖聖人御逮夜（午後2時）
28日・宗祖聖人御命日 兼日中（午前8時）
29日・報恩講一お待受奉仕一（午前9時）

10月

2日・真如上人御祥月御命日（午前8時）
～報恩講～
3日・初逮夜（午後1時30分）
4日・日中（午前10時）
・結願逮夜（午後1時30分）
・『みのり』音楽法会（午後2時30分）
5日・教如上人御祥月御命日
・報徳会（午前11時）
・結願日中（午後1時30分）
御講師：里雄康意師（緑林寺住職（前宗務総長））
12日・闍如上人御逮夜・常永代経（午後2時）
13日・闍如上人御命日 兼日中（午前8時）
14日・巧如上人御祥月御命日（午前8時）
19日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
27日・宗祖聖人御逮夜（午後2時）
28日・宗祖聖人御命日 兼日中（午前8時）

◆10月からの消費税改定による 色花等の価格改定のお知らせ

この度、消費税10%への増税に伴い、墓地で販売しています色花等の物品の販売価格が左記の通り改定されることとなりました。
何卒ご理解の程、よろしくお願いいたします。

記

色花	2370円	↓	2420円
ヒバ	720円	↓	740円
（線香）	30円		
（蠟燭）	10円		

※線香・蠟燭については価格据え置き。

天満別院 今月の伝道掲示板

人間でも
一回ダメ
になった人が好き

―樹木希林―
『一切なりゆき』より

編集後記

先日、令和初の全国高校野球選手権大会が履正社高校の優勝をもって幕を閉じました。好カードにもなると、前日の終電で並んでも当日券ではアルプス席に入れない日もあったようです。ただ昨今、高校野球に限らず問題になっているのは、高額転売を目的にチケットを買い占め、本場に観戦・鑑賞したい人の手にチケットが行き渡らないことです。6月にチケット不正転売禁止法が施行されたことで、今後、少しでも改善されることを願うばかりです。（H）

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

（株）天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

株式会社 太田石材店

本社
〒536-0001 大阪市城東区占市1丁目23番20号
TEL(06)6930-5075 FAX(06)6930-5078

工場
〒536-0017 大阪市城東区新岸多東1丁目8番2号
TEL(06)6968-8111 FAX(06)6968-8805

<http://www.otasekizaiten.co.jp/>

お内仏・お墓にお供えする

お花の色や種類に決まりはあるの？



び出遇えるかわからないその花との一期一会の出遇いがそこにあります。

仏花は、お釈迦さまがおいでになった当時、その教えに帰依した人たちがお花を捧げて敬いの心を表したことに由来します。そのことを改めて教えとして聞いていくとき、仏前のお花も私たちに本当のことを教えようとしているものとして受け止めていくことができます。

答え

お葬式から満中陰（四十九日）法要までは、櫛や青葉、白や黄の花をお飾りいたします。それ以外、日常にお供えするお花の色や種類に決まりはありません。ただ、トゲのある花やツル植物、また毒花や香りがきつい花は避けます。また、造花は用いず、必ず生花をお供えすることは言うまでもありません。

花瓶に、松や檜の枝などを真として、四季折々の木に咲く花や草花を挿します。旬のお花に季節の移ろいを感じるとともに、来年再

止まることのない時間の中、変わり続けていくのはお花だけではありません。生あるものは必ず死に帰す。私たちの毎日、目の前の人との出遇いも、繰り返すことが出来ないかけがえのない一瞬一瞬であります。

仏前に身を据え、ご本尊を仰ぎながら仏花を見ると、私たちに確かな歩みが促されます。さまざまな種類のお花が色とりどりの表情で私たちに「あなたのいのちの事実と尊さ」に気づけと呼びかけてくださっています。

（第7組 教應寺 建部 智宏）

◆秋季彼岸会勤修のお知らせ

真宗大谷派（東本願寺） 天満別院
秋季彼岸会 並 総永代経法要
兼 墓地納骨（物故者）追弔法要
法話 麻生 英城 師
大阪教区第12組 唯稱寺住職

講演 彼岸に臨む「哀時吉日」に因りて...
2019年9月24日（火）13:30～
・どなたでも自由にお参りください。
・13:30より勤行があります。その後のご法話です。

真宗大谷派（東本願寺） 天満別院
〒530-0044 大阪府北区東天満 1-8-26
☎ 06-6351-3535

別院HP <http://tenma-butsuden.jp> QRコードはこちら

御講師からのメッセージ



来る24日に勤修します秋季彼岸会の御講師、麻生英城師よりメッセージをいただいています。

『現代社会は電化製品、またはインターネット等で象徴されるように、昔に比べれば便利な社会だと誰しも思っているのではないのでしょうか。だけれども毎朝テレビでは民放各局のどの放送局でも占いが放送されます。それは信じる信じないは別にして、誰でも占いを見たり聞いたりしたいという要求や需要があることなのでしょう。便利な世の中でも何か不安な日々が占いに頼ってしまったり、気にしてしまうのでしょうか。今から約800年前の親鸞聖人

がご在世の時代から占いはあるように、聖人も御和讃で

かなしきかなや道俗の

良時吉日えらばしめ

天神地祇をあがめつつ

ト占祭祀つとめとす

と示されています。

ということ、800年も前から民衆は日時の良い悪いや占いなどが盛んで、それを頼みにしておられた方がたくさんおられたことの裏返しでありましょう。

今回、天満別院でのお彼岸のご縁を賜り、占い等が気になってしまいう身を皆さまと一緒に尋ねてみようと思います。』

◆報恩講

―お待受奉仕のお願い―

左記の通り、来る報恩講に向けてご門徒の皆様とともにおみぎ・登り旗・紫幕設置等のお手伝いをお願いしたいと存じます。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

記

日時 9月29日（日）午前9時

場所 天満別院本堂

服装 汚れても構わない服

※昼食はご用意しております。

報告

◆東本願寺別院をより鮮明に

天満別院に馴染みがある人にとっては真宗大谷派のご本山が東本願寺だと分かりますが、ご門徒ではない、別院を行き交う人にとっては「どこの別院なんだろう」と思われているかもしれません。

そこで別院では「天満別院」を行き交う方々に知ってもらおうと今年度から様々な取り組みを始めました。その一つに今回「本願寺舊（旧）跡」等々の石碑に新たに東本願寺と彫り入れ、更には文字に色を入れることで、行き交う方々に真宗大谷派天満別院が、東本願寺の別院であることを知ってもらえるように取り組みました。



◆暁天講座開講の報告



別院では、8月5日、6日の朝6時より1階講堂にて暁天講座が開講されました。講師には、両日ともに当別院 武宮 信勝輪番に「凡愚に帰れ」という講題のもとにお話しいただき、述べ35名の方々が聴聞されました。

お帰りの際には、太田石材店様より軽食のご提供を賜りました。なお、講座録は、明年の暁天講座の折に、冊子にする予定です。

◆孟蘭盆会勤修の報告



8月13日には孟蘭盆会が13時半より本堂にて勤修されました。

御講師には、昨年に引き続き、第7組 光明寺住職 山内 雅教師にお越しいただき、「真宗門徒に於けるお盆」という講題のもとお話しいただきました。

輪番雑感

「長崎平和宣言」から

輪番 武宮 信勝

お盆が過ぎ去り、別院境内に早くもトンボが飛び舞う時候となりました。

過る8月9日、長崎に原爆が投下されて74年目。長崎市長、田上富久氏の「平和宣言」を、感動深く聞きました。冒頭、「目を閉じて聴いてください。」に始まり、

幾千の人の手足がふきとび、腸わたが流れ出て、人の体にうじ虫がわいた。息ある者は肉親を探し求めて、死骸を見つけ、そして焼いた。人間を焼く煙が立ち上り、罪なき人の血が流れて浦上川を赤くそめた。

父も母ももういない、兄も妹ももう戻ってこない。人は忘れやすく弱いものだから、あやまちをくり返す。だけど...このことだけは忘れてはならない、このことだけはくり返してはならない、どんなことがあっても...と、17歳の時、

被爆した女性の詩を紹介された。そして「原爆は【人の手】によってつくられ、【人の手に】落とされました。だからこそ、【人の意志】

によって、無くすことができます。その意志が生まれる場所は、間違いないく私達一人ひとりの心の中です。.....

今、改めて終戦74年を経て、原爆のみならず、沖縄決戦・大阪大空襲をも含めて沢山の尊い命が犠牲となられた事実は、これから決して拭い去ることはできません。『国豊民安・兵戈無用』（大経・意識↓国が豊かに民が安心して暮らしていくためには、兵隊も武器も要らない）と阿弥陀仏の仰せに、親鸞聖人は「世の中安穩なれ、仏法弘まれ」と響かれました。

私たちの宗門は、毎年春の法要に併せて、「全戦没者追弔法会」の法要が勤められています。

その願いは、宗祖のご精神に帰依し、この私が本願念仏に生きる一人の念仏者として「無碍の一道を歩まん」とする決意を、深い慙愧の念をもって表白することにあると思います。私達一人ひとりとって、終戦記念日8月15日は、慰霊の日で終るのではなく阿弥陀仏から「非核・非戦」と願われ続けられていた、私でありましたと手が合わされる「大悲への合掌」でありました。